

代替動物を用いたワクチンの有効性確認試験プロトコルの開発

研究期間	平成 24 年度～平成 25 年度
課題番号	2406
研究実施機関	(大) 東京大学大学院農学生命科学研究科
研究概要	近年、アジア熱帯地域から侵入した病原体による感染症で牛の異常産が増加しており、その防あつにはワクチンの開発が必要だが、牛の妊娠牛を用いた感染及び効果試験は、場所や供試牛の制約が多い状況となっています。 そこで、山羊等を用いた病原体の感染試験及びワクチンの効果試験を行い、代替動物を用いたワクチン有効性確認試験プロトコルを開発するための研究を実施しました。
研究成果の概要	牛の代替としてシバヤギを用いてワクチン有効性確認試験を行いました。ワクチンにより、シバヤギは免疫を付与されたにもかかわらず、攻撃ウイルスの胎子移行を防御できなかったことから、シバヤギは牛の代替動物として用いることができないと判断され、シバヤギを代替動物として用いたワクチン有効性確認試験プロトコルの開発には至りませんでした。 また、動物医薬品検査所配付のアカバネウイルスの病原性をマウス及びシバヤギを用いて病原性を確認し、当該ウイルスがワクチン有効性確認のための攻撃ウイルスとして適していることを明らかにしました。

(注) 研究実施機関の名称は、研究終了時の名称を記載